# 今月のくしトピ! KUSHIMA ＝くしまトピックス＝ TOPICS

## 6/7 福島高生徒会が学校の魅力をＰＲ

串間中生徒に福島高の魅力を発表する生徒会役員

福島高校の生徒会役員８人は、串間中学校の全校生徒に学校説明会を行いました。同高校への進学を増やそうと生徒会が初企画。説明会では、地域の活性化策の学習や商品開発などを行う地域創生クラス、地域課題を調査・研究する探究科学クラスがあることや、希望者は無料で英語を学べる公営塾の「樹スクール」などを紹介。そのほか、動画で授業の様子や部活動などの紹介もありました。

生徒会長で高校３年生の谷口綾香さんは「直接高校の魅力を伝えられてよかった」。中学３年生の早瀬心晴（こはる）さんは「福島高の魅力がよく分かった。まだ進路は決まっていないが選択肢の１つにしていきたい」と話していました。

## 6/18 有明小６年児童が東九州自動車道の利点を学ぶ

有明小学校の６年生12人は、東九州自動車道について理解を深める授業を受けました。本市の活性化策や課題を調査・研究する「くしま学」の一環。今回は市東九州道・中心市街地対策課の職員が講師を務め、高速道路開通により、観光地へのアクセスが容易となり交流人口が増加することや、南海トラフ巨大地震が発生した際は、救援物資の搬入や被災者の搬送などが迅速に行えることなどを説明。児童は高速道路がもたらす本市への利点を学んでいました。小城彪真（ひゅうま）くんは「高速道路ができることによるメリットについてたくさん知れてよかった。今後も勉強を続けていきたい」と話していました。

東九州自動車道に関する小テストもありました

## 6/21 幸島の猿が出産シーズンを迎える

母猿に寄り添う赤ちゃん猿

国の天然記念物に指定されている市木地区の幸島に生息するニホンザルが、出産シーズンを迎えています。京都大学野生動物研究センター幸島観察所の職員が、６月14日に今年初めての赤ちゃんが２匹誕生しているのを確認しました。同月21日には、赤ちゃんは母猿にしがみついて乳を飲んだり、気持ちよさそうに眠るなど愛らしい姿を見せていました。同観察所の鈴村崇文（たかふみ）さんは「赤ちゃんが生まれ１年がスタートした気持ち。２頭とも元気に育っているので今後も長く生きてほしい」と話していました。幸島には現在約９０匹のニホンザルが生息しており、毎年６月～８月が出産シーズン。今年は７、８匹が生まれる見込みです。





## 6/25 串間警察署と串間市消防本部が合同で水難訓練実施

男性の救助を行う串間署の警察官（右）

夏のレジャーシーズンを前に水難救助の技術を学ぼうと、串間警察署は串間市消防本部と合同の水難訓練を福島高松漁港で行いました。消防が持つ水難救助の専門的な技術を警察が学び、迅速な救助につなげようと初めて実施。訓練には警察官と消防隊員ら約30人が参加。初めに、消防隊員が救助の流れの説明や浮輪とロープを使った救助法を実演した後、男性が漁港の岸壁から海中に転落したと想定して訓練を開始。救命胴衣を着用した制服姿の警察官が海に飛び込み、浮輪を使って男性を救出しました。同署地域交通課の田中利明課長は「今回の訓練を通じ、今後水難事故が発生した際は迅速に対応していきたい」と話していました。

## 6/30 大塚製薬と健康づくりの推進などで連携

本市は大塚製薬株式会社と包括連携協定を締結しました。連携する事項は、市民の健康づくりの推進や青少年の育成、災害対策など６つの分野となります。締結式には同社熊本支店長の石田清さんが出席し協定書に署名。石田支店長は「市民の皆さんの健康寿命の延伸、生活の質（QOL）の改善に貢献していきたい」とあいさつされました。今後、健康増進セミナーの開催や災害時の支援物資提供などを通じて連携して取り組んでいきます。

高齢者活動の支援やスポーツの振興などでも連携していきます

## 7/6 無農薬の旬の果実を子どもたちに

ブルーベリーの収穫を楽しむ園児

今町のりんぽかん保育園の年中、年長児11人が、本城の春日地区にある川﨑知彦さんのブルーベリー畑で収穫体験を行いました。「まずは好きな物を採って食べてみてどんなものが甘いのか考えながら採ってみよう」と川﨑さんが話すと、早速園児たちは思い思いのブルーベリーを口にし、笑みを浮かべる子、すっぱくて顔をしかめる子など反応はさまざまでしたが、すぐにコツをつかみ、甘いものをたくさん収穫していました。年長クラスの宮浦千沙さんは「とても楽しくておいしかった。また来たい」と農薬を使っていない自然の甘さを堪能できうれしそうに話していました。